

国を挙げて
インフラ整備

近年、アジア各国でのMICEビジネスが急成長を遂げています。MICEというのはミーティング(企業等の会議)、インセンティブ(報奨旅行・行事)、コンベンション(学協会・団体等の大企)、エキシビション・イベント(展示会・スポーツ大会・文化行事)の頭文字をとったものです。

これまで、海外からの



田部井 正次郎

急進するアジアのMICE事業

聖教新聞は、MICEビジネスが急成長を遂げています。MICEとは、ミーティング(企業等の会議)、インセンティブ(報奨旅行・行事)、コンベンション(学協会・団体等の大企)、エキシビション・イベント(展示会・スポーツ大会・文化行事)の頭文字をとったものです。

これまで、海外からの

民地時代から、アジア、ヨーロッパ、中東、オーストラリアを結ぶ交通の要衝として栄えてきた利点を生かし、空港や港湾などのインフラ整備に力を入れ、シンガポール市内には外資系の大型ホテルを誘致、90年代には二つの大型国際会議場・展示場を開催されるようになつたのです。

しかも、最近のIIR(統合型リゾート)では、本来、都市インフラとして整備される美術館や博

物館などを、一部、外資事業者に負担させて整備。外資を上手に取り入れているのが特徴です。

国を挙げてMICEビジネス育成に取り組んでいる韓国、北京五輪・上

海万博で都市インフラの整備が進む中国の動きに

も目を見張るものがあり

ます。特に中国では、2015年に上海に巨大展示場(東京ビッグサイト)がオープン。モーターショーへの影響など、今後の動向

が注目されています。

例えば首都圏であ

れば、成田と羽田という二つのハブ空港に、3都県で4施設があります。海

路を使って連携すれば、

大規模会場として利用可能

です。

また、震災からの復興

シンボルとして仙台に国

立国際会議場を造るとい

うのはどうでしょうか。

北大の超伝導やハイ

テク研究を根底に据えた

学術・産業分野のMICE

Eが考えられます。

人が集まるところに觀

光の一環としてのMICE

Eがあります。觀光ツー

リズムというと、遊びを

中心に考えがち。しか

し、ビジネスから始まる

観光もあるのです。MICE

Eが考えられます。

人が集まるところに觀

光の一環としてのM